

## 原子力防災対策について

### 避難時間シミュレーション結果を踏まえた対応状況について(鹿児島県)

避難時間シミュレーションの結果を踏まえた県の対応状況を説明しました。

#### 指示に基づいた避難の重要性に関する住民への周知・啓発

- 避難行動などについて、専門委員会による講演会を開催しました。
- 原子力だよりかごしま、県ホームページ等で指示に基づいた避難の重要性について周知啓発を行いました。
- 原子力防災訓練において、住民が屋内退避訓練に取り組むとともに、防災講習会において重点的に周知を行いました。



#### 避難時における交通の円滑化

原子力防災訓練において、パトカーによる避難車両の先導や避難経路の要所での警察官による交通誘導及び交通規制を行いました。



#### 避難住民に対する必要な情報の迅速な伝達

- 原子力災害時に、被災情報を集約して、円滑な住民避難を可能とするアプリを開発中です。
- 令和2年度原子力防災訓練において、アプリの試行版を使用し、避難状況の把握手順確認などを行います。



#### 県地域防災計画(原子力災害対策編)への反映

指示に基づかない住民の避難の抑制に係る広報の実施、交通誘導対策の強化、避難退域時検査の設置場所選定の考え方について追記するなど、県地域防災計画(原子力災害対策編)を改正しました。

意見

- 原子力防災アプリについて、できるだけ汎用性があるものにしてほしい。
- 避難放送が聞きとりづらい高齢者等への情報伝達のあり方についても検討してほしい。

### 令和2年度原子力防災訓練の概要(案)について(鹿児島県)

- 専門委員会や関係市町等からの意見、外部委託による評価結果及び住民アンケートの結果等を踏まえた検討状況を説明しました。
- 今年度の訓練については、関係市町と協議し、現時点では住民参加の規模を縮小し、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施する予定としています。

意見

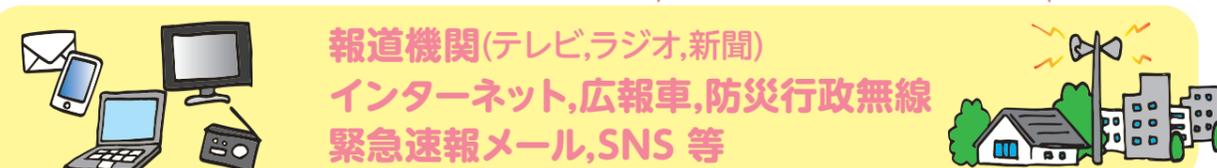
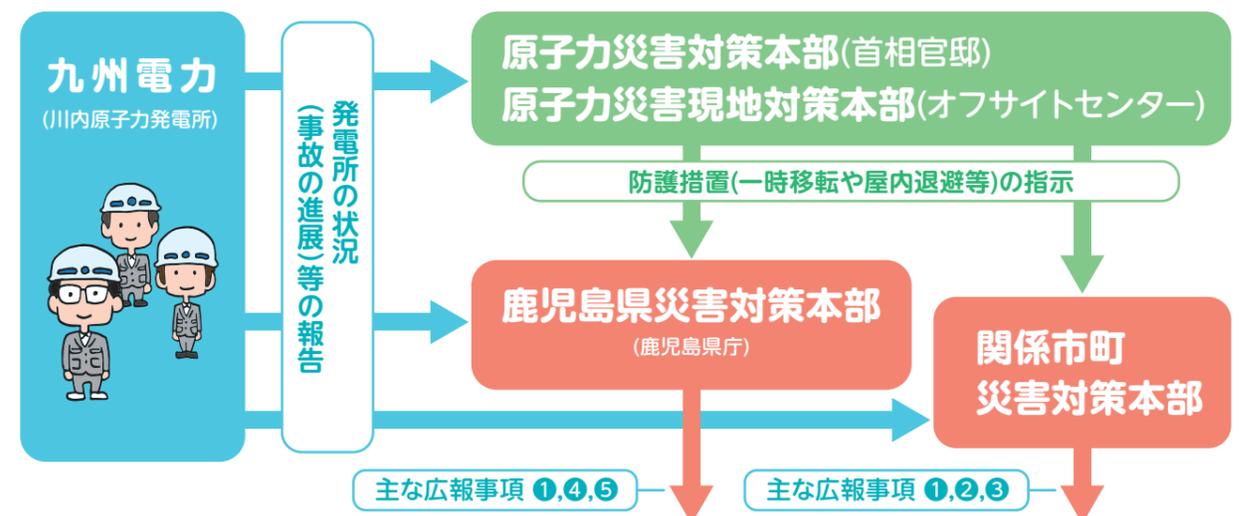
住民参加については、新型コロナウイルス感染症の状況を十分に考慮して計画を進めてほしい。

※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を中止しました。

# 原子力防災講座 vol.2

## 住民への情報伝達

- 災害が起こると様々な情報が飛び交い、混乱が起こりやすくなることから、住民の皆様に正しい情報を正確にお伝えすることが大切になります。
- 国や県、関係市町、九州電力においては、万が一、原子力発電所で事故などが発生した場合には、直接又は報道機関などを通じて様々な方法で事故の内容等をお伝えすることとしております。
- 今回は、原子力災害が発生した場合、事故の内容や避難指示等の情報が、どのようにして住民の皆様に伝えられるかをご紹介します。



#### 主な広報事項



- ① 事故の概要(発生日時,状況,今後の予測)
- ② 避難対象区域及び屋内退避区域(PAZ,UPZ内の区域)
- ③ 住民がとるべき行動(避難準備・開始,一時移転,安定ヨウ素剤の服用準備・服用)
- ④ 原子力発電所・行政機関における対応状況  
(県市町災害対策本部,緊急時モニタリングセンターの設置)
- ⑤ 放射線モニタリング結果(環境放射線量)



#### 住民(観光客等一時滞在者を含む)

- 国や県、関係市町、九州電力が発表する正しい情報をしっかり確認しましょう。
- ご近所の方と情報を確認しましょう。
- 避難中はラジオ、携帯電話、スマートフォンなどから情報を入手しましょう。
- 最新情報やデータをこまめにチェックし、すぐに行動できるよう情報収集を心がけましょう。
- 指示に従って落ち着いて行動しましょう。

